**1889年(明治22年) 明治中期**

前年の明治21年4月には憲法制定にむけて天皇の諮問機関として枢密院が設置され、伊藤博文が初代議長に就任し、同月には第2代内閣総理大臣に旧薩摩藩出身の黒田清隆が就任し、黒田内閣が成立、9月には翌年の議会開設に向けて帝国議事堂（初代）が着工となり、明治22年2月11日の紀元節に国民が待ちに待った大日本帝国憲法が公布され、前月に竣工した新築の皇居（明治宮殿、1889～1945）で大日本帝国憲法・貴族院令の発布式が開催された。また、この日の各地の記念式典では、全国民が等しく高唱して憲法発布を祝えるようにと旧來の万歳「まんせい」の読みを東北地方の国民も発音しやすいように「ばんざい」と改められたが、2月にはクリスチャンの文部大臣・森有礼が暗殺され、外務大臣の大隈重信が襲撃されるなど、黒田内閣に試練にさらされることとなった。11月には第3次山縣内閣が組閣し、12月には自由民権派の板垣退助が「愛国公党」（板垣退助・党首）を結成した。

【参考年表】

1月

新築の皇居が竣工

2月

大日本帝国憲法（明治憲法）が公布

文部大臣森有礼が暗殺される

10月

東海道線（新橋～兵庫県の姫路）が全通

大隈重信（外相）が襲撃される

11月

第3次山縣内閣が組閣

12月

愛国公党（板垣退助・党首）が結成

※この年、日本と欧米諸国と相次いで条約改正

※この年、朝鮮国が防穀令を布告